

木原あい一郎 プロフィール



幼少期

1962年11月20に安佐北区白木町志路にて農家の長男として生まれる。

広島市立白島小学校

6年生時には担任教諭の勧めもあり体格も良かったため、初代応援団長を拝命。

広島市立幟町中学校

クラス委員をしながらバスケット部に入部し、1年生から試合に出場させてもらいました。3年生には副キャプテンとして何故かファンクラブまでできてしまい、妹の同級生からプレゼントまで…。そして卒業式では舞い上がってしまい、公立高校入試を控えた身でありながら、学生服のすべてのボタンをプレゼントした情けない記憶もあります。

広島工業大学付属広島高校

残念ながら体調不良のため志望校に合格できず、泣く泣く入学しました。前年度まで広島市において唯一の私立共学校でしたが、私の入学年次から男子校となってしまいました。必要に迫られてアルバイトを始めました。夏休みなど長期休暇は鳶職のアルバイトに明け暮れ、高校生活後半は新築中のマンションでユニットバスの組み立て補助をしていました。

私立九州共立大学 工学部建築学科

新学期が始まっても友人宅へ居候し、夜はアルバイトの毎日となりました。結局4年間で単位が不足し、留年か自主退学を迫られました。文系の友人は要領よく卒業していきますが、理系の私はそうはいきませんでした。卒業設計や実験データ不足で全ては自己責任ですが卒業は絶望的です。最終的に中退を決意し、東京の就職先を世話してもらいました。

東京の住宅会社勤務

社員は10名足らずの会社でしたが、住宅にかかわるすべての職人が常用雇用という一見非効率な不思議な会社でした。一般的には下請け協力会社を持ち、受注があれば発注するのが当たり前です。しかしながらこの会社は地域密着を掲げ、例えば急に水道管が破裂しても自前で対応できる、どんなご要望でも対応できる体制をとっている稀有な会社でした。

(株)マルコシ

最盛期の個人売上1億8千万を達成。
数年後に広島中央支店の支店長、後に本社に異動。
ライフワークとして地域の清掃活動をしています。
そんな中、2019年の河合前代議士による汚職事件に憤りを感じ、本当に地域のために汗を流して働くためには自分が立つしかないと考え、広島市政改革のため立ち上がることを決意。

